

# 「歩く県道・銀山街道」

地域づくりニュース H29 Vol.2

只見町の地域住民やJR東日本の元職員、「銀山街道を活用して地域を元気にする会」のみなさんに参加をしていただき、今年度第2回目の「歩く県道・銀山街道」地域づくり検討会を開催しました。

福島県では、地域に活力を取り戻す施策の1つとして、交通不能区間となっている旧街道（銀山街道）を「歩く県道」として整備・利活用する取組みを行っております。この取組みを、さらに発展させ、今後の地域づくりに繋げていくために、活発な意見交換が行われました。

## 第2回「歩く県道（銀山街道）」地域づくり検討会概要

- 日 時● 平成30年1月26日（金）13時50分より 只見町明和振興センターにて開催
- 参加者● 明和自治振興会、布沢区長、坂田区長、JR東労組東京地方本部「ほっとランド・フォレスト只見」、銀山街道を活用して地域を元気にする会、田賀意匠事務所、只見町、金山町、南会津建設事務所、会津若松建設事務所 合計 19名
- 議 題●
  - ✚ 今年度の道普請を振り返って
  - ✚ 来年度の予定について（道普請に関する事）
  - ✚ 銀山街道を活用した地域づくりについて



## 今年度の道普請を振り返って

平成29年9月に、美女峠と吉尾峠で行われた道普請について報告し、美女峠では、ぬかるみやわだち掘れを改善する作業、吉尾峠では川へ上り降りする箇所への階段の設置や、街道を横断する沢に橋を架設する作業を行ったと説明しました。

美女峠



わだち掘れ箇所に土のう袋を充填

吉尾峠（只見町側）



現地の木を伐り出して桁橋を架設

## 来年度の予定について

平成24年度から道普請を開始し、補修作業を続けてきたことで、だいぶ安全で歩きやすい道に整備されてきました。しかし、ぬかるみが酷かったり、丸木橋が折れて川を渡れないなど、補修の必要な箇所がまだ多く残っています。雪解け後に現地調査を行い、状況を確認して、今後の整備方法について検討を行うことになりました。

吉尾峠（昭和村側）



丸木橋が折れている箇所

## 銀山街道を活用した地域づくりについて

「銀山街道を活用して地域を元気にする会」（以下「元気にする会」）事務局の五十嵐政人氏より、今年度まで取り組んできた活動内容や、今後の取り組みの方向性について報告がありました。

### ●これまでの取り組み

「元気にする会」では、銀山街道に大勢の人が訪れるようになり、奥会津地域が活性化することを目標にして、色々な活動に取り組んできました。

峠の入口に案内看板を設置（左側）



文字は手書きです。ローマ字も併記されています。

ロングトレイルツアーを開催



今までは、バスと徒歩で街道を巡りました。現在は72km全線を歩くツアーを計画中！

三島町で街道交流会を開催

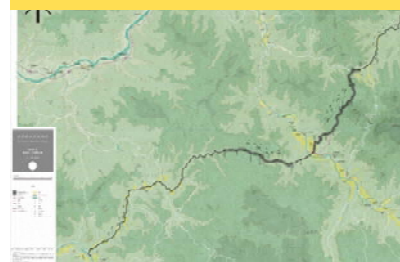


地域づくりを進めるにあたり、貴重な意見を伺うことができました。

### ●次年度以降の主な活動内容・方針

- ホームページの内容を充実させ、銀山街道をPRしたい
- 奥会津のブランド品の開発や販売を行いたい
- 福島県が作成した街道マップの活用方法を検討したい
- 県や町村、他の地域づくりの活動団体と広域的に連携したい
- 活動の中からUターンやIターン、若い世代の定住を促進し、集落の再生に繋げたい

銀山街道のマップ



（会津若松建設事務所HPより）

## ✚ 意見交換を終えて ✚

只見町布沢区では、JR東労組の協力を得て都市部や若い世代との交流が増えたことで、集落に少しずつ活気が始まっています。検討会では、「地域の自然や文化、歴史を外部の人に伝え、さらに往来を盛んにしたい」「地域の魅力に気付くことが出来て良かった」などの意見がありました。

その地域に住んでいる人にとっては当たり前のことでも、外部の人達には感動的に思える地域資源がたくさんあって、銀山街道もその1つと考えております。高齢化や人口減少が進む奥会津の現状を踏まえつつ、地域住民のみならず関係自治体とともに、道普請による街道の整備や利活用方法についての話し合いを継続し、かつ、広域的に連携した取り組みにしていくことで、今後の地域づくりに繋がっていきたいと思います。地域に元気が出るように、色々な提案やアドバイスをいただきながら取り組んでいきたいです。御協力をお願いいたします。



検討会終了後に記念撮影

ご意見・お問い合わせは



福島県会津若松建設事務所 企画調査課  
TEL 0242-29-5455 FAX 0242-29-5459  
福島県南会津建設事務所 企画調査課  
TEL 0241-62-5322 FAX 0241-62-5340